

高 城 中 学 校 だ よ り

令和 5 年 9 月 1 2 日（火） 校長 飯 干 裕 二

第2学期がスタートし、約2週間が過ぎました。長い夏休みではありましたが、何よりも、大切な本校の生徒が、大きな事故等もなく、無事に第2学期をスタートできたことが大きな喜びです。保護者の皆様及び地域の皆様に心より感謝申し上げます。

生徒会が主体となり公民館清掃ボランティアを実施

去る8月25日（金）の8時～9時30分を目処に、高城中校区の公民館（12公民館）の清掃ボランティアを行いました。生徒会執行部が希望者を募ったところ、144名と多くの生徒が参加しました。この取組は、本年度の生徒総会において、「地域貢献」のテーマで協議が行われ、その具体的な取組の1つとなっています。また、コロナ禍前には職員等が主体となって実施されていたようですが、今回からは、教育目標である「自立・感謝・貢献」のもと、生徒会執行部が中心となり、企画・立案・運営の全てを行いました。実施後の生徒の感想は、「地域との絆が深まった」「地域から必要とされていると感じた」などと、生徒は自己存在感を実感することができました。快く受け入れていただいた各公民館長様に感謝いたします。今後もこの取組が伝統となれと思います。



最後にこの取組に際し、高城地区福祉協議会様に多大なるご支援をいただきました。このご支援がなければ、この取組は達成できませんでした。本当にありがとうございました。

第2学期始業式

8月28日（月）から第2学期がスタートしました。始業式に先立ち、表彰・校納式が実施され、3年生の出水心菜さん（卓球女子シングルス県総合大会2位、九州大会出場）、女子バレーボール部（チャレンジ杯優勝）、女子ソフトテニス松元・永緑ペア（近郊大会3位）、漢字検定合格者の表彰等を行いました。また、吹奏楽部の水久保渉さん（3年）、海老原更紗さん（3年）が日本クラシック音楽コンク



ール宮崎地区予選を突破し、10月9日（月）に熊本市で実施される本選会へ出場すること

を披露しました。

次に始業式では、生徒代表のこたばとして、4名の生徒の皆さんが2学期の抱負を述べてくれました。代表者は、1年代表：青木蒼翔さん、2年代表：大前そらさん、3年代表：大浦暖斗さん、生徒会代表：新原ゆいさん（3年）です。4名とも目標達成に向けた具体的な取組を発表してくれました。素晴らしい発表でした。

最後に私の話の内容ですが、1学期終業式と同様に2学期も「自立・感謝・貢献」を1セットとした取組を行って欲しいこと。生徒会を中心として「地域貢献」の取組を実践して欲しいこと。悩み等は一人では抱え込まず、周囲に相談すること。命を大切にした行動をとることでした。そして新たにお問い合わせしたことがあります。それは、現在社会の溢れかえっている情報や噂話等に惑わされ、他者に対して安易な誹謗中傷は絶対に行わないということです。他者を認め、受け入れることを大切にしたい、良好なコミュニケーション能力を培って欲しいという内容でした。長い2学期が始まっていますが、全校生徒の皆さんが安心して安全な充実した学校生活を送れることを願っています。

第2回命の教育講演会及び情報モラル教室

8月30日（水）に命の教育講演会を実施いたしました。講師はメンタルサポートyuki代表の山元様でした。「ひとつしかない大切なもの」をテーマとし、ストレスの感じ方やその対処法、SOSの出し方についてお話をいただきました。



また、同週の9月1日（金）に情報モラル教室を実施いたしました。講師は（株）宮崎県ソフトウェアセンター愛甲様でした。「ネットトラブルを回避するために」をテーマに、SNSについて、ネットトラブルの現状と予防・対処法、宮崎県の取組等についてお話をいただきました。

本校では学期1回はこの「命の教育講演会」と「情報モラル教室」をセットで実施し、全教育活動においても関連して取り組んでまいります。先行き不透明（VUUCA時代）な時代だからこそ、生徒にとってはとても大切な取組となります。

地域の中に学校はある

「地域連携」については、今後も生徒会執行部を中心に、生徒が主体となり様々な取組を行っていきます。また、前回ご紹介したように、2年生が高城の魅力発信を目的に、パンフレットとうちわを作成し、様々な方々や各機関に配布しております。このように地域と学校が絆を深めること、しかも、そこに生徒が主体性をもって取り組むことは生徒のためにもなり、地域も活性化します。そして、やがて地域力の向上につながると思います。

さて、日常の学校生活でつくづく感じていることがあります。温暖化もあり、学校内の雑草等が伸びるのが早い状況です。教育総務課の方々が定期的に来校し、草刈り等を行っていただいております。学校でも環境委員会や生活委員会の生徒が手入れをしていますが、完全に整備することはできません。しかし、私が毎日校舎を見回っていると、いつの間にか草が刈り取られている時があります。調べてみると、部活動の後援会の方や地域の方が作業をしていただいたと聞きます。本当にありがとうございます。「地域の中に学校はある」と言われますが、日に日にその言葉を身に染みて感じております。どうぞ今後も高城中学校をご支援ください。